

みなさまのご意見をお聞かせ下さい

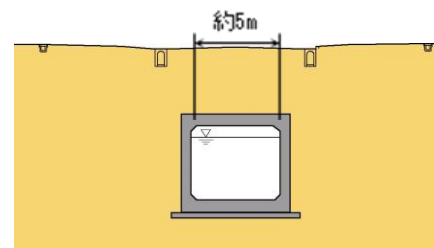
大蓮寺川河川改修の見直しについて

現在の計画

現在の計画は、国道157号と市道元禄線の地下に地下放水路を作って50年に1回程度発生すると想定される洪水を九頭竜川に放流する計画です。



①-① 断面



しかしながら、現在の計画には次のような課題があります。

- 地下放水路が大規模であり工事に相当な時間がかかる。
(効果が出るまで時間がかかる)
- 開削工事(道路の上からの工事)となるため、交通規制等による周辺地域への影響が大きい。
- コストの更なる縮減。

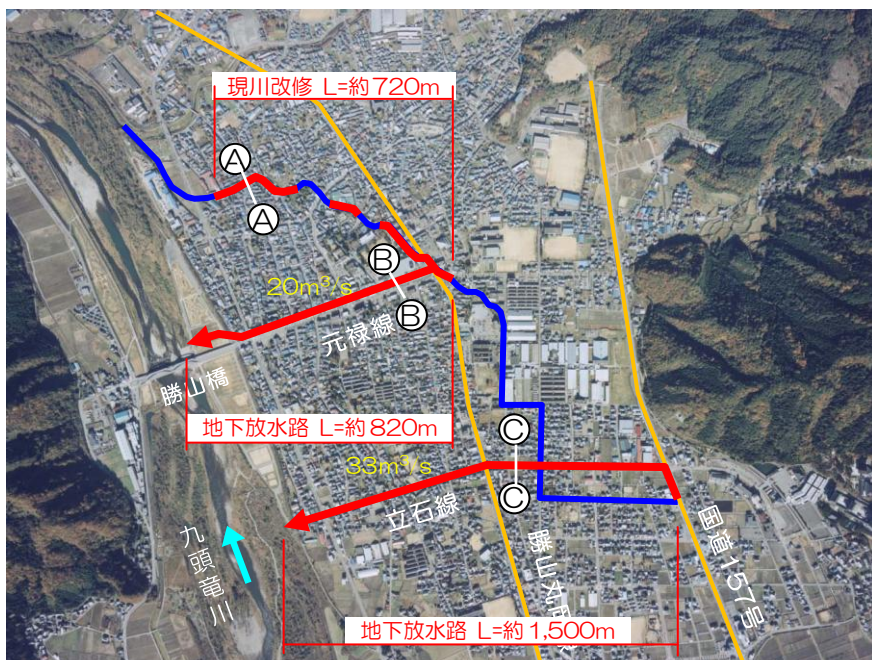
課題へ対応するため、今回計画の見直しを行いました。

見直し計画

- 1 現在の川の断面の小さい区間の改修を行います
- 2 地下放水路を元禄線下と立石線下の2本に分けて整備します
- 3 地下放水路の半分以上の区間に非開削工法を採用します

見直しの効果

放水路規模が小さくなり、工事にかかる期間を短くできます。また、現川改修を合せて行うことで改修の効果が早期に発現します。地下放水路は半分以上が非開削工法となるため、周辺地域への影響を低減できます。



①-① 断面



現川改修イメージ

②-② 断面、③-③ 断面

